

②						新編シラバス					
科目名		建築CAD設計 I									
担当教員		本間 裕				実務授業の有無		○			
対象学科		建築士学科		対象学年		1		開講時期		前期	
必修・選択		必修		単位数				時間数		48時間	
授業概要、目的、授業の進め方		建築に必要な2D-CADの基本技術と 建築空間の表現・伝達に必須であるCAD設計の知識・技術を、学ぶことで簡単な図面が描ける実習 1. 座学→演習→添削と解説を繰り返し行い習得レベル差ごとの指導も適宜行う。 2. CADの基礎を中心に見方、描き方を解説・演習する。 3. 条件に則した設備設計の進め方の基本を理解する。 4. 最終的には、木造住宅の製図、炉計図課題を作成し、評価、解説行う									
学習目標 (到達目標)		建築に必要な2D-CADの基本技術を習得します 自在に様々な図面を作図できる様になることを目標とします CAD検定3級全員合格を目指します									
テキスト・教材・参考図書・その他資料		①徹底解説AutoCAD (エクスナレッジ) /プリント配布									
NO.		授業項目、内容				学習方法・準備学習・備考					
1		PC基本知識 ①OS、周辺機器について ②ネットワークに接続設定 ③AutoCAD のインストール ④プリンタの接続設定をします				方法：教科書、プリント等の教材を使って説明し、CADの基本操作を行うための準備と設定。 OS、周辺機器、ネットワークに接続設定、AutoCADのインストール、プリンタの接続設定ができています。 準備学習：教科書、プリントに示されている練習課題の予習と練習					
2		CADの基本操作 ①起動と終了 ②図面ファイルの操作 ③作図環境の設定 ④画面操作 ⑤コマンドを使う ⑥レイアウトを使って図面を印刷 ⑦1つの図面に異なる縮尺を使いこなす ⑧画層を自在に使いこなす				方法：教科書、プリント等の教材に沿って説明し、CADの基本操作を行うための準備と設定。 CADの基本概略を掴み、起動から、一連の操作ができる。 準備学習：教科書、プリントに示されている練習課題の予習と練習					
3		建築CAD検定3級の対策 ①建築CAD検定3級対策授業 ・4パターンの問題の描きかた練習 ・過去問題を演習 ・タイムトライアル 演習 クラス全員合格をめざします				方法：教科書、プリント等の教材に沿って説明し、試験対策課題の演習。 建築CAD検定3級全4題を2時間以内に描けるようになる 準備学習：教科書、プリントに示されている練習課題の練習					
		評価方法・成績評価基準				履修上の注意					
		必須提出課題の点数に加え、通常の授業態度などを加味して総合的に判断します。  課題90% 授業態度10% 成績評価基準は、A(80点以上)・B(70点以上)・C(60点以上)・D(59点以下)とする。				CAD設計の基礎を、作図演習を通じて習得する。 建築士CAD検定試験に対応できる知識と技術を身につけるため。基本を固め、演習を繰り返すことのでつけてスキルを上げていく。個人作業が主体で、レベル差が出やすいので、適宜個人指導も行う。					
		実務経験教員の経歴 建築設計及び監理業務22年									

②						新編シラバス					
科目名		建築CAD設計 I									
担当教員		本間 裕				実務授業の有無		○			
対象学科		建築士学科		対象学年		1		開講時期		後期	
必修・選択		必修		単位数				時間数		48時間	
授業概要、目的、授業の進め方		建築に必要な2D-CADの基本技術と 建築空間の表現・伝達に必須であるCAD設計の知識・技術を、学ぶことで簡単な図面が描ける実習 1. 座学→演習→添削と解説を繰り返し行い習得レベル差ごとの指導も適宜行う。 2. CADの基礎を中心に見方、描き方を解説・演習する。 3. 条件に則した設備設計の進め方の基本を理解する。 4. 最終的には、木造住宅の製図、炉計図課題を作成し、評価、解説行う									
学習目標 (到達目標)		鉄骨造の図面の特徴を習得し、AutoCADの更なる応用操作を習得する。CAD検定2級の対策授業を通してCAD技術の向上を図り、合格をめざす。									
テキスト・教材・参考図書・その他資料		①徹底解説AutoCAD LT2016 (エクスナレッジ) /プリント配布									
NO.		授業項目、内容				学習方法・準備学習・備考					
1		鉄骨造の配置図兼平面図をCADトレース ①鉄骨造平面図の特徴 ②平面図を描く上でのCAD操作 ③レイアウトによる印刷				方法：教科書、プリント等の教材に沿って説明し、試験対策課題の演習。 達成目標：項目①～③が理解・説明でき合格基準に到達できている。 準備学習：教科書、プリントに示されている練習課題の練習					
2		鉄骨造の断面図をCADトレース ①鉄骨造の断面図の特徴 ②断面図を描く上での操作 ③レイアウトによる印刷				方法：教科書、プリント等の教材に沿って説明し、試験対策課題の演習。 達成目標：項目①～③が理解・説明でき合格基準に到達できている。 準備学習：教科書、プリントに示されている練習課題の練習					
3		鉄骨造の立面図をCADトレース ①鉄骨造の立面図の特徴 ②立面図を描く上での操作 ③レイアウトによる印刷				方法：教科書、プリント等の教材に沿って説明し、試験対策課題の演習。 達成目標：項目①～③が理解・説明でき合格基準に到達できている。 準備学習：教科書、プリントに示されている練習課題の練習					
4		鉄骨造の詳細図をCADトレース ①鉄骨造の詳細図の特徴 ②立面図を描く上での操作 ③レイアウトによる印刷				方法：教科書、プリント等の教材に沿って説明し、試験対策課題の演習。 達成目標：項目①～③が理解・説明でき合格基準に到達できている。 準備学習：教科書、プリントに示されている練習課題の練習					
5		CAD検定2級対策 ①1/100の平面図から1/50の平面詳細図を2時間で描く ②屋根伏図を読み取る ③特に屋根形状の作図に留意した立面図を2時間で描く				方法：教科書、プリント等の教材に沿って説明し、試験対策課題の演習。 建築CAD検定2級全問題を2時間以内に描けるようになる 準備学習：教科書、プリントに示されている練習課題の練習					
		評価方法・成績評価基準				履修上の注意					
		必須提出課題の点数に加え、通常の授業態度などを加味して総合的に判断します。  課題90% 授業態度10% 成績評価基準は、A(80点以上)・B(70点以上)・C(60点以上)・D(59点以下)とする。				CAD設計の基礎を、作図演習を通じて習得する。 建築士CAD検定試験に対応できる知識と技術を身につけるため。基本を固め、演習を繰り返すことのでつけてスキルを上げていく。個人作業が主体で、レベル差が出やすいので、適宜個人指導も行う。					
		実務経験教員の経歴 建築設計及び監理業務22年									